XW-1

デジタルワイヤレススピーカーシステム
取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。
XW-1スピーカーはHTP-S313/HTZ-363DV（サラウンドシステム）のオプションスピーカーです。このスピーカー単体では動作しません。また、本機を指定の製品以外に接続しないでください。過大な音が出たり、故障の原因となることがあります。
XW-1を同梱しているサラウンドシステムをご使用の場合、接続や各種操作についてはサラウンドシステムの取扱説明書をご覧ください。

安全上のご注意(絵表示について)

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

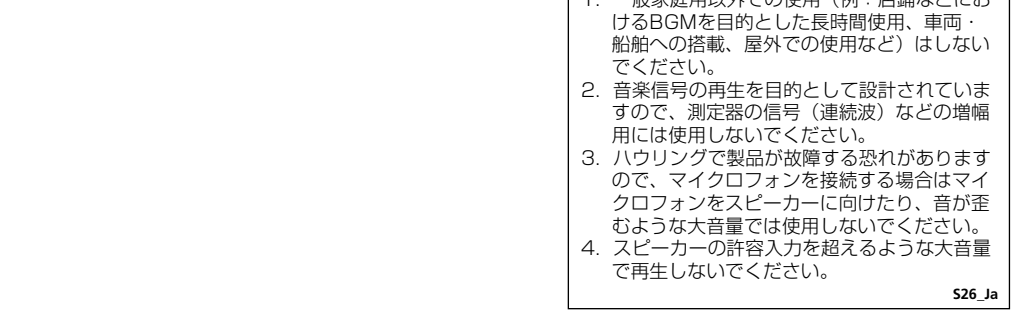
- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  → あおむけや横倒し、逆さまにする。
  → 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  → じゅうたんやふとんの上に置く。
  → テーブルクロスなどをかける。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト 50 Hz/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。
- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

異常時の処置

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

- 旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

保守・点検

- 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本製品は家庭用オーディオ機器（オーディオ・ビデオ機器）です。下記の注意事項を守ってご使用ください。

1. 一般家庭用以外での使用（例：店舗などにおけるBGMを目的とした長時間使用、車両・船舶への搭載、屋外での使用など）はしないでください。
2. 音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号（連続波）などの増幅用には使用しないでください。
3. ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロフォンを接続する場合はマイクロフォンをスピーカーに向けたり、音が歪むような大音量では使用しないでください。
4. スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。

S26_Ja

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあとに乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

インターネットによるお客様登録のお願い
http://pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

電波に関するご注意

- 本機は盗聴防止機能を搭載しておりますが、傍受（無線通信内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信すること）にご注意ください。本機は電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本機は日本国内のみで使用できます。

本機は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、下記①に示すようにいろいろな機器が使用しています。また、お客様に存在がわかりにくい機器として下記②に示すような機器もあります。

① 2.4 GHz を使用する主な機器の例
- コードレスフォン
- コードレスファクシミリ
- 電子レンジ
- 無線ルーター
- ワイヤレス AV 機器（当社ワイヤレススピーカーを含む）
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- マイクロ波治療機器類
- Bluetooth 対応機器

② 存在がわかりにくい 2.4 GHz を使用する主な機器の例
- 万引き防止システム
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム

これらの機器と本システムを同時に使用すると、電波の干渉により、音が途切れて雑音のように聞こえたり、音が出なくなることがあります。このようなときは、レシーバー部のTUNEDインジケーターが点滅または消灯しますが、電波干渉によるもので本機の故障ではありません。
受信状況の改善方法としては以下の方法があります。
- 電波を発生している相手機器の電源を切る
- 干渉している機器の距離を離して設置する
- トランスミッターのチャンネル選択ボタンで干渉されない他のチャンネルを選択する

次の場所では本機を使用しないでください。ノイズが出たり、送信/受信ができなくなる場合があります
- 同じ周波数帯（2.4 GHz）を利用する無線通信機器である Bluetooth、無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります）
- テレビにノイズが出た場合、トランスミッターがテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。トランスミッターをアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

- 本機は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
- 分解 / 改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

2.4DS4
- ①「4」 想定される与干渉距離(約40 m)を表します
- ②「DS」 変調方式を表します
- ③「2.4」 GHz帯を使用する無線設備を表します

- 本機の使用する周波数帯域（2.4 GHz）では、無線通信機器であるBluetooth、無線LAN、また電子レンジなどの機器の他、工場、製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する）および、特定小電力無線局が同じように利用して運用されています。

  本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

  万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波障害の事例が発生した場合、すみやかにその場での本機の使用を中断してください。

使用範囲について

- ご家庭内での使用に限ります。(通信の環境により伝送距離が短くなることがあります)

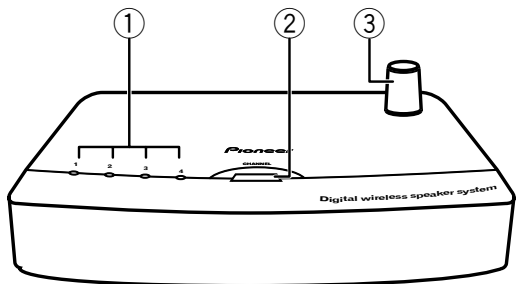
次のような場合、電波状態が悪くなったり電波が届かなくなることが原因で、音声がとぎれたり停止したりします
- 鉄筋コンクリートや金属の使われている壁や床を通して使用する場合。
- 大型の金属製家具の近くなど。
- 人混みの中や、建物障害物の近くなど。
- 同じ周波数帯（2.4 GHz）を利用する無線通信機器である Bluetooth、無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。
- 集合住宅（アパート・マンションなど）にお住まいで、お隣で使用している電子レンジ設置場所が本機に近い場合。なお、電子レンジは、使用していなければ電波干渉は起こりません。
- 複数台の当社のワイヤレススピーカーを同じ場所、同じチャンネルで使用した場合。

電波の反射について

- ワイヤレススピーカーに届く電波には、トランスミッターから直接届く電波（直接波）と、壁や家具、建物などに反射してさまざまな方向から届く電波（反射波）があります。これにより、障害物と反射物とのさまざまな反射波が発生し、電波状態の良い位置と悪い位置が生じ、音声がうまく受信できなくなることがあります。このようなときは、ワイヤレススピーカーの場所を少し動かしてみてください。トランスミッターとワイヤレススピーカーの間を人間が横切ったり、近づいたりすることによっても、反射波の影響で音声がとぎれたりすることがあります。

注 意

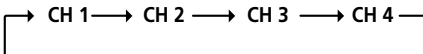
◆ お客さま、または第三者使用によるこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

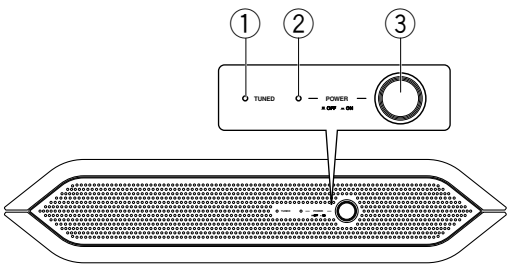
安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

付属品の確認

- ワイヤレススピーカー ×1
- トランスミッター ×1
- オーディオコード ×1
- ACアダプター ×1
- 電源コード ×1
- コーションラベル ×1
- 保証書
- 取扱説明書

各部の名称

トランスミッター

① **チャンネルインジケーター**
②の**チャンネル選択ボタン**によって選択された周波数チャンネルが点灯します。

② **チャンネル選択ボタン**
ワイヤレススピーカーへ送信する信号を４つの周波数チャンネルから選択します。ワイヤレススピーカーの受信状態が良くないときは、周波数チャンネルを変えることで受信状態が良くなることがあります。押すたびに以下のように切り換わります。

→ CH 1 → CH 2 → CH 3 → CH 4 ┐（CH 1へ戻る）

③ **アンテナ**
ワイヤレススピーカーへ音声信号を送信します。

ワイヤレススピーカー

上面部

① **TUNEDインジケーター**
トランスミッターからの信号を受信しているときに点灯します。

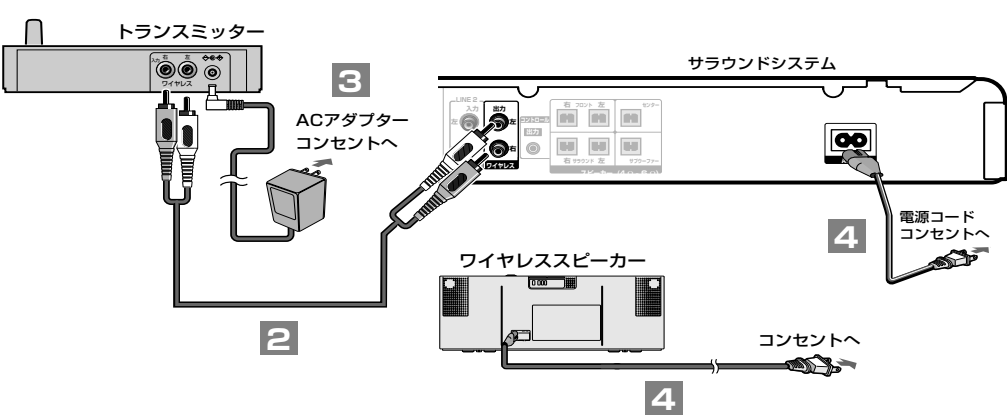
② **POWERインジケーター**
ワイヤレススピーカーの電源をオンにしているときに点灯します。

③ **電源ボタン**
ワイヤレススピーカーの電源をオン / オフします。

メ モ

▼ ワイヤレススピーカーのアンテナは内蔵されています。

ワイヤレススピーカーの接続と設置

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。

1 スピーカーを設置します

サラウンド効果を最大限に引き出すため、下の図のようにワイヤレススピーカーを設置してください。ワイヤレススピーカーを設置するスペースが視聴位置の後方に確保できないときは、ワイヤレススピーカーを視聴位置の左側か右側に設置することができます。

視聴位置の後ろに設置する

最もサラウンド効果の高い設置方法です。

- ワイヤレスモードは「**W.WIDE**」または「**W.NORMAL**」にしてください。

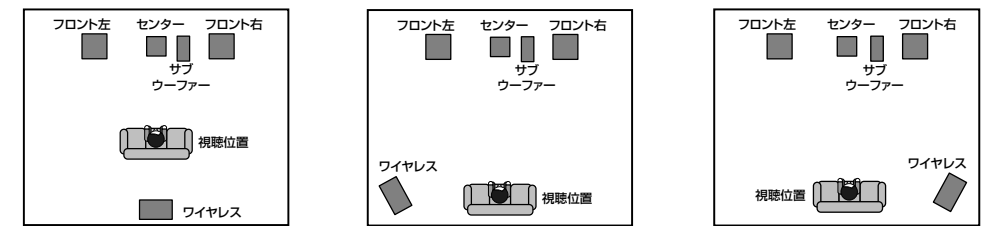
視聴位置の左側に設置する

左右の音場バランスを保ちつつ、広がり感を与えます。

- ワイヤレスモードは「**W.LEFT**」にしてください。

視聴位置の右側に設置する

左右の音場バランスを保ちつつ、広がり感を与えます。

- ワイヤレスモードは「**W.RIGHT**」にしてください。

- ワイヤレススピーカーを視聴位置（リスニングポジション）から極端に離して設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されません。
- ワイヤレススピーカーは視聴位置（リスニングポジション）の真後ろ（中央）か左右の棚や置き台、または床に設置してください。また、ワイヤレススピーカーは耳の高さよりも下に設置することをお勧めします。耳の高さより上にワイヤレススピーカーを設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されないことがあります。
- 本機は、テレビとの近接使用ができませんのでテレビから離してご使用ください。また、磁気に影響のある製品や機器（フロッピーディスクやビデオ、カセットテープなど）からも離してお使いください。近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、相互作用によりテレビに色むらを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- ワイヤレススピーカーを壁に掛けたり、天井に吊るしたりして使用しないでください。スピーカーが落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。
- 別売のワイヤレススピーカースタンド（型番CP-F555W）があります。詳しくはカタログをご覧ください。

2 トランスミッターとサラウンドシステムを接続します

付属のオーディオコード（赤と白のプラグ）をサラウンドシステムのワイヤレス出力端子に接続します。次に、オーディオコード（赤と白のプラグ）の反対側をトランスミッターの入力端子(ワイヤレス入力)に接続します。

3 ACアダプターを壁のコンセントに差し込みます

ACアダプターをトランスミッターのDC電源入力端子に接続してから壁のコンセントへ接続します。

4 ワイヤレススピーカー、サラウンドシステムの電源コードをACインレット（AC IN）と壁のコンセントに差し込みます

電源コードをそれぞれの機器のACインレット(AC IN)に差し込み、電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。

5 サラウンドの自動設定（MCACC）を行います

ワイヤレスモード（詳しくは「ワイヤレスモードを切り換える」をご覧ください）、リスニングモード（詳しくはサラウンドシステムの取扱説明書をご覧ください）はサラウンドシステムに付属しているリモコンで切り換えます。リスニングモードは上記のいずれの設置のときも、「**サラウンドモード**」または「**アドバンスドサラウンドモード**」から選択してください。

- サラウンド効果が不十分なときは、サラウンドシステムの取扱説明書の「**スピーカー出力レベルの調整**」をご覧になりSR(サラウンド右)、SL(サラウンド左)チャンネルのレベルを調整してください。特にワイヤレススピーカーを床に設置しているときは効果的です。

注 意

◆ 使用中に電波の状態によって、音がとぎれたり出なくなったりすることがありますが故障ではありません。トランスミッターまたはワイヤレススピーカーの位置や方向を変えてみてください。
◆ トランスミッターとワイヤレススピーカーの距離は約 10 mまで使用可能です。この距離は使用環境により異なりますので、10 mを保証するものではありません。
◆ トランスミッターとワイヤレススピーカーが近すぎると受信状態が不安定になる場合があります。このような場合には、トランスミッターとワイヤレススピーカーを 1 m以上離してお使いください。
◆ トランスミッターとワイヤレススピーカーの間に障害物（金属製のドアやコンクリート壁、アルミ箔入りの断熱材など）があると、電波を遮ってしまい音が出なくなるときがあります。その場合はトランスミッターとワイヤレススピーカーを互いに見通しの良い場所に設置してください。

ワイヤレスモードを切り換える

以下の操作はサラウンドシステムに付属しているリモコンを使用します。製品によっては**シフトボタン**を押しながら操作するものもあります。

サラウンドスピーカーとして使う

ワイヤレスボタンを押して、いずれかのモードを選択します

- ノーマルサラウンド　W.NORMAL
- ワイドサラウンド　W.WIDE
- 左サイドサラウンド　W.LEFT
- 右サイドサラウンド　W.RIGHT

サラウンドシステムの表示部に「((W))」インジケーターが点灯します。

ステレオスピーカーとして使う

ワイヤレスボタンを押して、「W.STEREO」を選択します

- ステレオ　W.STEREO

サラウンドシステムの表示部に「((W))」インジケーターが点滅します。ワイヤレススピーカー以外のスピーカーからは音が出ません。

ワイヤレススピーカーから音を出さない

ワイヤレスボタンを押して、「W.OFF」を選択します

- オフ　W.OFF

サラウンドシステムの表示部の「((W))」インジケーターが消灯します。ワイヤレススピーカーからは音が出ません。

メ モ

▼ ワイヤレススピーカーをステレオスピーカーとして使うときは、サラウンド機能のいくつかが制限されることがあります。制限される機能のボタン操作を行うと「**W.STEREO**」が点滅します。

その他の使い方

ダイニングなどで使う

ワイヤレススピーカーをダイニングなどに持ち運び、ステレオ音声をお楽しみいただくことができます。このときはワイヤレススピーカー以外のスピーカーからは音が出ません。

- ワイヤレスモードは「**W.STEREO**」にしてください。
- リスニングモードは選択することができません。

ワイヤレススピーカーをフロントサラウンドとあわせて使う

サラウンドシステムをフロントサラウンド設置時に、ワイヤレススピーカーを使用することで、フロントサラウンドとワイヤレスサラウンドを切り換えて楽しむことができます。

- フロントサラウンドを使用しているときは、ワイヤレススピーカーから音は出ません。
- フロントサラウンドとワイヤレスサラウンドを切り換えたときは再度、サラウンドの自動設定（MCACC）を行うことをお勧めします。
- フロントサラウンドの設置と操作方法、およびサラウンドの自動設定（MCACC）については、サラウンドシステムの取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

症状	原因 / 対策
ワイヤレススピーカー関係	
ワイヤレススピーカーから音が出ない。	• フロントサラウンドが選択されていませんか？「**サラウンドモード**」または「**アドバンスドサラウンドモード**」にしてください（詳しくはサラウンドシステムの取扱説明書をご覧ください）。 • ワイヤレスモードがOFFになっていませんか？ワイヤレスボタンを押してワイヤレスモードを OFF 以外にしてください。
ワイヤレススピーカーの音声がとぎれる。	• 近くに同じ周波数帯（2.4 GHz）を利用する無線通信機器である、コードレスフォン、Bluetooth、無線LAN、また電子レンジなどの機器が作動していませんか？トランスミッターのチャンネルを切り換えるか、設置場所を変えてみてください。 • 本機の使用する電波は、高い周波数を使用しているため、光と同じように直進、反射、屈折、回折、干渉などの性質を持っています。そのため、場所により電波の強弱が起こり、音声が止まったりすることがあります。設置場所を変えてみてください。 • トランスミッターとワイヤレススピーカーの距離が離れすぎていませんか？電波の届く範囲でご使用ください。 • 電気雑音の発生しやすいところで使用していませんか？トランスミッターのチャンネルを切り換えるか、設置場所を変えてみてください。 • 複数台の当社のワイヤレススピーカーを同じ場所、同じチャンネルで使用していませんか？同じチャンネルにならないようにチャンネルを変えてみてください。
トランスミッターから出力された音声をワイヤレススピーカーが受信できない。	• 障害物と反射物の影響で電波状態の良い位置と悪い位置があります。トランスミッターまたはワイヤレススピーカーの位置を少し動かしてみてください。 • トランスミッターとワイヤレススピーカーは対になっており、お互いに識別しています。別に購入されたトランスミッターとワイヤレススピーカーでは通信できない仕組みになっています。
トランスミッター周辺に設置されたテレビの画像が乱れることがある。	• トランスミッター周辺にアンテナが取り付けられているAV機器がありませんか？トランスミッターをAV機器のアンテナ入力端子から遠ざけてください。
ワイヤレススピーカーから過大な音が出る。	• 本機を指定の製品以外に接続していませんか？指定の製品以外に接続することはできません。

仕様

ワイヤレススピーカー

電源 .... AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 .... 30 W
アンプ
　実用最大出力（JEITA） .... 10 W/ch (1 kHz, THD 10 %, 4 Ω)
スピーカーユニット .... 7 cm（コーン型）X2
外形寸法 .... 461.5 mm (幅) x 176.5 mm (高さ) x 95 mm (奥行)
質量 .... 2.9 kg

トランスミッター

ACアダプター
　電源 .... AC 100 V、50 Hz/60 Hz
　定格 .... 9 VA
　定格出力 .... DC12 V/300 mA
消費電力（本体のみ） .... 2 W
入力 .... RCA ジャック
外形寸法 .... 166 mm (幅) x 56 mm (高さ) x 112 mm (奥行)
質量 .... 0.3 kg
付属品
　オーディオコード / AC アダプター / 電源コード / コーションラベル / 保証書 / 取扱説明書

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理受付センターにご相談ください。
所在地、電話番号は「**ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内**」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：
  デジタルワイヤレススピーカーシステム
- 型番：XW-1
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：
修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：
修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

修理を依頼されるときは、トランスミッターとワイヤレススピーカーを2つ1組としてご依頼ください。

サービスステーションリスト

サービス拠点のご案内

サービス拠点への電話は、修理受付センターでお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービスステーション）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区
受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆札幌サービスセンター	FAX 011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区
受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆仙台サービスセンター	FAX 022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX 024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX 019-659-1895	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX 0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野4-3-34
秋田サービス認定店	FAX 018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目346-1

●東京都内
受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
世田谷サービスステーション	FAX 03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX 03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1 F

●関東・甲信越地区
受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
新潟サービス認定店	FAX 025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆千葉サービスセンター	FAX 043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
松戸サービス認定店	FAX 047-340-5052	〒270-0021	松戸市小金原4-9-23
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX 0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆埼玉サービスセンター	FAX 048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX 049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
群馬サービス認定店	FAX 0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
☆神奈川サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX 045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南1-19-17
神奈川西サービス認定店	FAX 046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX 0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区
受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆名古屋サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX 054-237-5691	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-6-5
沼津サービス認定店	FAX 055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX 053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町415　ビラモデルナ5号
金沢サービス認定店	FAX 076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区
受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆大阪サービスセンター	FAX 06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪北サービス認定店	FAX 06-6453-5666	〒531-0076	大阪市北区大淀中3-9-4
大阪南サービス認定店	FAX 0722-75-2625	〒593-8322	堺市西区津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX 078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX 0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土4-2
和歌山サービス認定店	FAX 0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX 075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX 0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX 0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区
受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆広島サービスセンター	FAX 082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX 086-244-8748	〒700-0975	岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX 0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX 0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX 0857-29-1290	〒680-0061	鳥取市立川町5-240-1
徳山サービス認定店	FAX 0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX 087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX 088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX 088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1 F
松山サービス認定店	FAX 089-951-6270	〒791-8067	松山市古三津5-10-35　商船ビル1 F

●九州地区
受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆福岡サービスセンター	FAX 092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX 093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX 092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX 095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX 096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX 097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
鹿児島サービスステーション	FAX 099-224-7692	〒892-0841	鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル2 F
宮崎サービス認定店	FAX 0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1

●沖縄県
受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	TEL / FAX	〒	住所
沖縄サービスステーション	TEL 098-879-1910 FAX 098-879-1352	〒901-2122	浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター3 F

平成19年2月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要さない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先）カスタマーサポートセンター：0070-800-8181-22

http://pioneer.jp/support/

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）
受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）
●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■0070－800－8181－22　■一般電話　03－5496－2986
■ファックス　03－3490－5718
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター
受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
■電話　0120－5－81028（ゴーハ゜イオニア）　■一般電話　03－5496－2023
■ファックス　0120－5－81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）
受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）
■一般電話　098－879－1910
■ファックス　098－879－1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター
受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
■電話　0120－5－81095　■一般電話　0538－43－1161
■ファックス　0120－5－81096

平成19年2月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.022

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<ARA7243-B>